

伊賀市の決算状況を報告します

《平成 29 年度の決算状況》

9月に行われた第4回伊賀市議会（定例会）で、平成29年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回は、その概要をお知らせします。

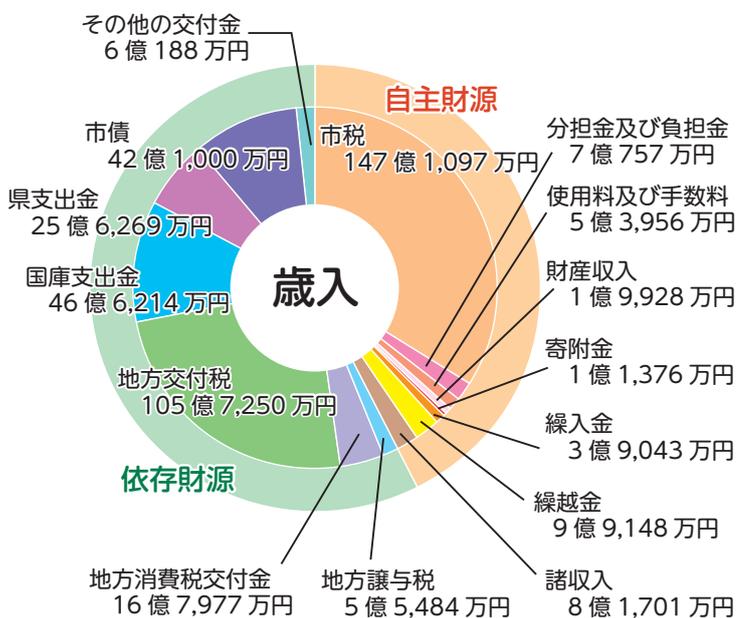
※表示単位未満を四捨五入しているため、決算書の金額（円単位）と一致していない場合があります。

【問い合わせ】 財政課 ☎ 22-9608 FAX 22-9694

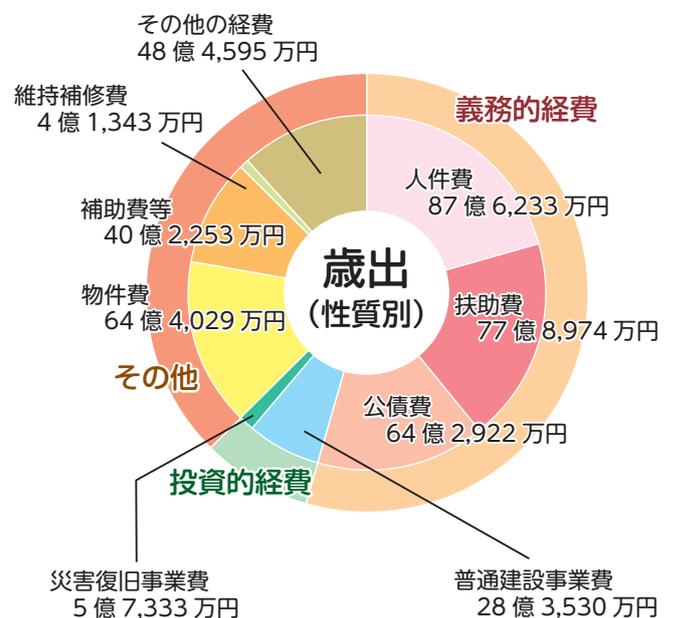


■ 一般会計の決算状況

▼歳入：433億 1,388万円

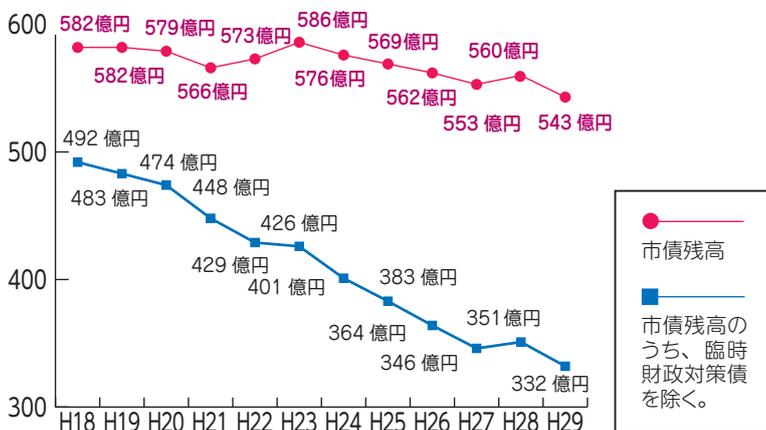


▼歳出：421億 1,212万円



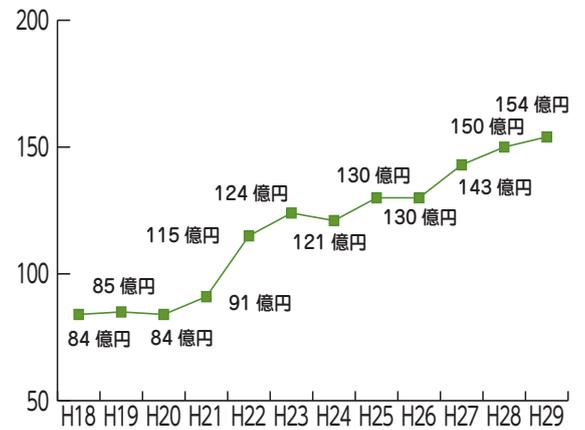
▼市債残高：543億円

市債は、いわゆる市の借金です。
市民1人あたりでは、約59万円です。

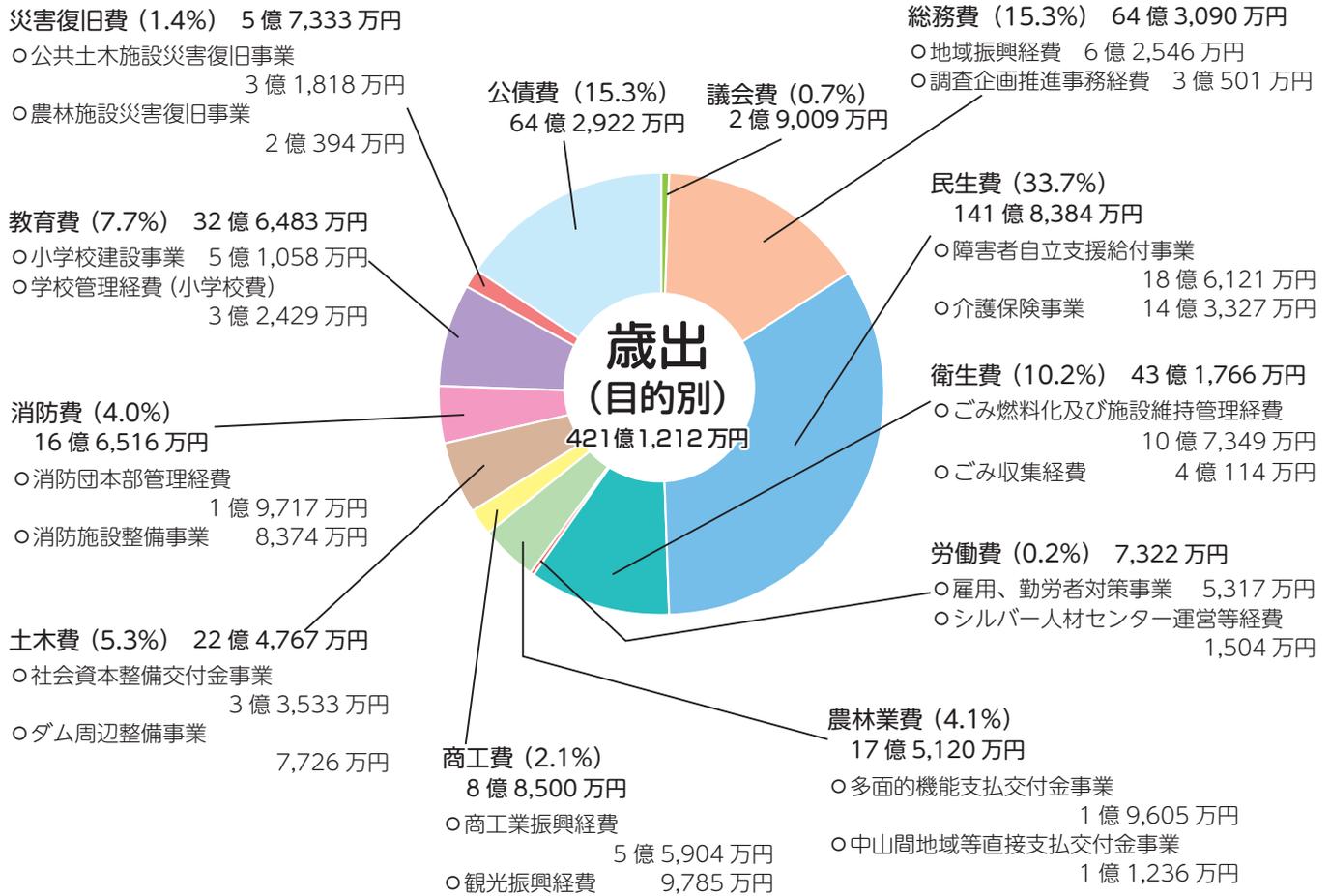


▼基金残高：154億円

基金は、いわゆる市の貯金です。
市民1人あたりでは、約17万円です。



主な経費



市有財産の状況

区分		土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	118,289㎡	30,304㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,798,060㎡	465,411㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産		2,839,979㎡	24,562㎡	上記以外(山林など)
合計		6,756,328㎡	520,277㎡	

特別会計の決算状況 (公営企業会計を除く。)

市には、国民健康保険事業など6つの事業会計と2つの財産区会計があります。

特別会計全体の基金残高は約15億円で約13億円の減、市債残高は約3千万円で約1千万円の減となります。

会計名	歳入額	歳出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	111億2,013万円	109億8,727万円	1億3,286万円	5億8,888万円	879万円
住宅新築資金等貸付	1,698万円	9,505万円	▲7,807万円	11万円	1,871万円
駐車場事業	4,724万円	4,683万円	41万円	-	-
介護保険事業	104億7,802万円	102億8,527万円	1億9,275万円	5億2,733万円	-
サービスエリア	1,136万円	1,086万円	50万円	5,579万円	-
後期高齢者医療	12億1,462万円	11億9,360万円	2,102万円	-	-
島ヶ原財産区	3,021万円	2,910万円	111万円	2億2,373万円	-
大山田財産区	1,786万円	1,632万円	154万円	9,149万円	-
合計	229億3,642万円	226億6,430万円	2億7,212万円	14億8,733万円	2,750万円

■財政の早期健全化・再生に関する指標

地方公共団体は財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断するものとして、健全化判断比率を公表することが義務付けられています。

健全化判断比率には、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの財政指標があります。これらの比率が1つでも早期健全化基準を超えた場合、「財政健全化団体」となり財政健全化計画の策定などが義務づけられます。また、将来負担比率以外の指標が別に定める財政再生基準を超えたときは破綻（「財政再生団体」とみなされ、法律で規定する「財政再生計画」を定めなければなり

（財政健全化法に基づく指標）

ません。

伊賀市の平成29年度の数値は、28年度の数値よりも改善しており、すべての指標においても早期健全化基準・財政再生基準を下回りましたが、県内の市の中では下位のほうになっています。そのため、市長の公約である「ムダのない財政」のもと、今後も各種事業に取り組んでいく必要があります。

※伊賀市の場合、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は黒字のため該当なし』となります。

※速報値

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率		
					病院事業	水道事業	下水道事業
伊賀市 (平成29年度数値)	該当なし	該当なし	12.2 (12.5)	79.8 (85.3)	該当なし	該当なし	該当なし
早期健全化基準	11.92	16.92	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0		
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—	—		

病院事業

■事業概要

上野総合市民病院は三重県西部の基幹病院として、全人的医療を提供し市民に信頼される病院であることを基本理念とし、役割を担ってきました。高齢化の進行や全国的な医師看護師不足が続くなか大変厳しい経営状況が続いています。こうした状況の下、地域の中核病院としての使命達成と住民の健康保持を図るため、職員一丸となって改革に取り組んでいます。

平成29年度は、本館蒸気ボイラー取替工事・新館給湯ボイラー取替工事を実施し病院機能の改良を図るほか、生化学自動分析装置やCTスキャナ装置改善整備、3D内視鏡システムなどの医療機器の購入整備を行い、医療の質を高めるよう努めました。

今後もより一層の経営効率化を進めるとともに、地域の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たすべく努力してまいります。

■利用状況

	平成29年度	1日平均
外来患者数(人)	71,634	295
入院患者数(人)	72,922	200

※外来患者の1日平均人数は、患者数を年間診療日数である243日で割っています。

■市債残高 12億7,720万円

■病院事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	46億7,714万円	44億9,383万円	—	増減額	▲1億8,331万円
事業費用	46億6,355万円	45億4,660万円	—	不用額	1億1,695万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	2億1,445万円	2億725万円	—	増減額	▲720万円
支出	3億4,932万円	3億1,992万円	—	不用額	2,940万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎24-1111 FAX24-1565

水道事業

■事業概要

平成 29 年度の主な事業として、伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、上神戸・佐那具町地内では新規給水エリアの拡大事業を、緑ヶ丘東町・緑ヶ丘本町・上野西大手町・上野丸之内・上野玄蕃町・炊村地内などでは配水管更新事業に取り組んだほか、内保・東湯舟加圧ポンプ場設備更新工事などにより施設機器の更新を図り、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。

今後も安心安全で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	34 億 8,247 万円	35 億 894 万円	—	増減額	2,647 万円
事業費用	31 億 7,206 万円	30 億 6,968 万円	—	不用額	1 億 238 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	6 億 7,251 万円	6 億 4,550 万円	—	増減額	▲ 2,701 万円
支出	17 億 7,033 万円	17 億 2,927 万円	—	不用額	4,106 万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

下水道事業

■事業概要

平成 29 年 4 月 1 日から地方公営企業法を全部適用した企業会計方式に移行して初年度の決算となります。

平成 29 年度の主な事業は、公共下水道事業長寿命化計画に基づく平成 29・30 年度の事業として、上野新都市浄化センター及び柘植浄化センターの監視制御設備等の再構築を図る電気設備工事等に取り組んだほか、農業集落排水事業では、平成 32 年 4 月の供用開始をめざし、山田南地区の管路施設工事に取り組みました。

今後、下水道普及率の向上を通じて公共用水域の水質保全に努めます。

■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	26 億 3,972 万円	25 億 8,248 万円	—	増減額	▲ 5,724 万円
事業費用	26 億 5,684 万円	24 億 9,275 万円	1,247 万円	不用額	1 億 5,162 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
収入	16 億 7,737 万円	7 億 8,389 万円	—	増減額	▲ 8 億 9,348 万円
支出	16 億 6,609 万円	13 億 4,788 万円	3 億 745 万円	不用額	1,076 万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

■給水状況

	平成 29 年度	平成 28 年度からの増減
現在給水戸数 (戸)	39,723	146
現在給水人口 (人)	91,930	▲ 891
年間総配水量 A (m ³)	14,402,272	32,061
年間総有収水量 B (m ³)	11,720,707	2,974
有収率 B/A (%)	81.4	▲ 0.1

■市債残高 143 億 6,554 万円

■給水状況

	平成 29 年度	平成 28 年度からの増減
行政区内人口 A (人)	92,460	▲ 903
処理区域内人口 B (人)	35,568	▲ 303
処理区域内水洗化人口 C (人)	29,512	34
普及率 B/A (%)	38.5	0.1
水洗化率 C/B (%)	83.0	0.8
年間有収水量 (m ³)*	3,855,830	39,243

*使用料徴収の対象となった汚水量

■市債残高 157 億 4,374 万円